

年頭のあいさつ



長瀬町長
大澤 タキ江

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
町民の皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃より町政の推進に、深いご理解とご協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

さて、去年は町名が「長瀬町」となってから50周年の大きな節目を迎えた年でした。これを受け、町では職員から様々なアイデアを募り、議場でのコンサートや結婚式をはじめ、記念植樹、U-15未来議会、はつらつ健康フェア等、各種記念事業を実施いたしました。

町が「長瀬町」として50年間歩んでこられたこと、また、記念事業を無事に執り行うことができましたことは、町民の皆様や、関係団体の方々のご理解なくしては決して成し遂げることはできなかったことです。今日に至るまでの力強く温かいご支援に対しまして、ここに改めて深く感謝申し上げます。

依然として、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中ではありますが、節目の年を迎え、前を向き歩いていく気持ちを新たにしました次第でございます。

さて、本年は、令和6年度の小学校2校統合に向けた最終準備に取り組む大変重要な1年となります。町の大切な子どもたちや保護者の皆様の不安を少しでも軽減し、学校統合後も安心して学ぶことができる環境を整えるため、堅実に取り組んでまいります。

長瀬町では現在、少子高齢化や人口減少が進行していく中で、子育て支援、高齢者の福祉・医療・介護の社会保障等多くの問題がありますが、子どもを安心して生み育てられる環境を整えるとともに、町民一人ひとりが生涯を通して心身ともに健康で生きがいを感じながら生活できるまちづくりを目指して、職員一丸となって取り組んでまいり所存でございますので、更なるご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、令和5年が町民の皆様にとりまして、穏やかで実り多き1年となりますよう心からご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

あけましておめでとうございます。

輝かしく希望に満ちた新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。年頭に当たり、長瀬町議会を代表し謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には、平素から町議会に対しまして、温かいご支援とご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、去年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大と地域経済活動の疲弊に見舞われた一年でした。

新型コロナウイルス感染症は、第6波、第7波、第8波と、感染の拡大と減少を繰り返し、経済・雇用・教育などに大きな影響を及ぼすとともに、各種団体が主催する行事、地域における自治活動におきましても、延期や中止が余儀なくされ、町全体の活気が失われつつある状況でありました。地域経済は、昨年同様、エネルギーや原材料価格の高騰により、企業の経営や家計を圧迫するなど、厳しい状況が続いております。

今後は、ウィズコロナのもとで、社会・経済活動の正常化をより確かなものとし、本格的な景気回復に向けて、引き続き各種支援策が必要となります。

また、長瀬町は、令和4年11月1日に町名変更50周年という大きな節目を迎えました。町議会といたしましても、記念事業の一環として、「U-15未来議会」、「議会だより題字書道コンクール」、「小さな音楽会～議場deコンサート～」、「議場Wedding」を実施しましたが、議会と町民をつなぐ一翼を担ったのではないかと自負しております。

今後も、町民の皆様のご健康と生活を守ることを最優先に、意思決定機関として、町政の監視評価機関として議会の役割を十分に果たすとともに、より身近な議会、わかりやすく開かれた議会を目指し、全力でその責任を果たしてまいります。

皆様には、昨年にも増して、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、癸卯（みずのと・う）の年は「これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍する年」といわれています。町民の皆様がご健勝で、幸せと希望に満ちあふれた年となりますよう、議員一同、心からご祈念いたしまして、年頭のごあいさつといたします。



長瀬町議会議長
板谷 定美